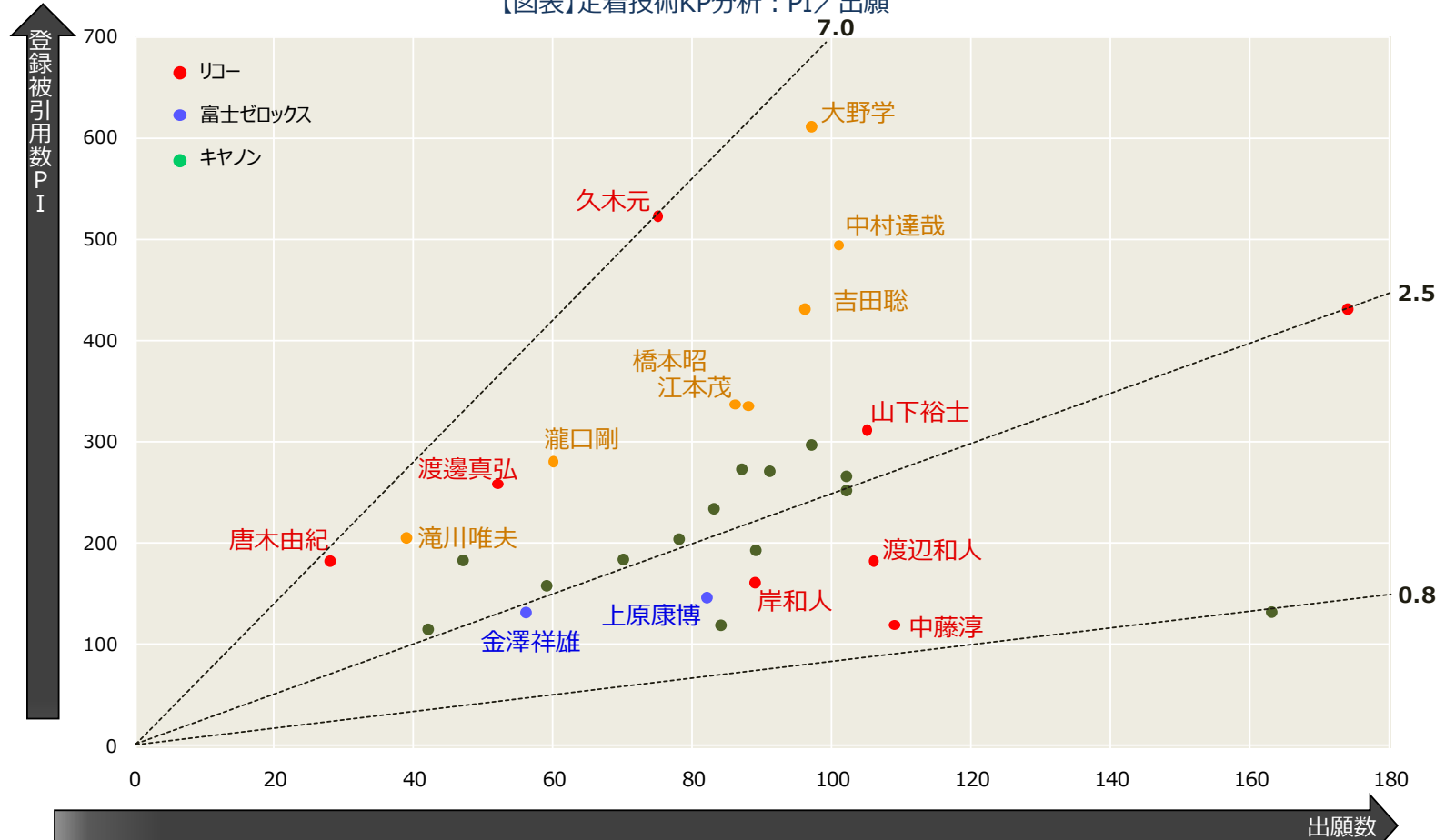


## 1-1 複写定着技術関連キーパーソンの分析

複写機に用いられる定着技術（2H033）のキーパーソンを登録被引用数と出願数の関係で分析することにより、総合的な他社後願影響力（PI）する研究者（縦軸）と特許出願に対しての他社後願影響力の効率（PIE）を有する研究者（勾配）を抽出することができる。

【図表】定着技術KP分析：PI/出願



## 1-1-1

## 概観

本図は、複写機の定着技術（2H033）に関する特許出願（X軸）と登録特許被引用数（Y軸）の上位発明者をプロットした散布図で、特許の他社影響度から見た本技術分野の業界キーパーソンの状況を示すものである。発明者の所属を色別で区分したが、キヤノンとリコーの発明者が大半を、一部を富士ゼロックスの発明者が占めている。これら以外企業の発明者は、キーパーソンとして出現しなかった。本図においての勾配は、特許出願に対して登録被引用数を示すもので、勾配が大きい程特許面を見た場合の出願効率が高い発明者であることを示す。